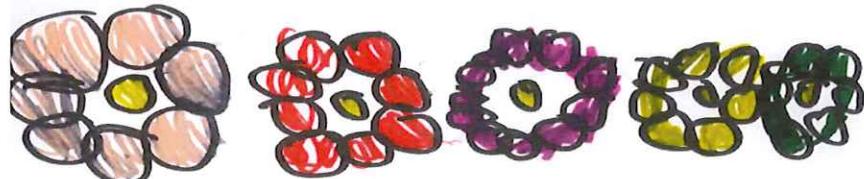
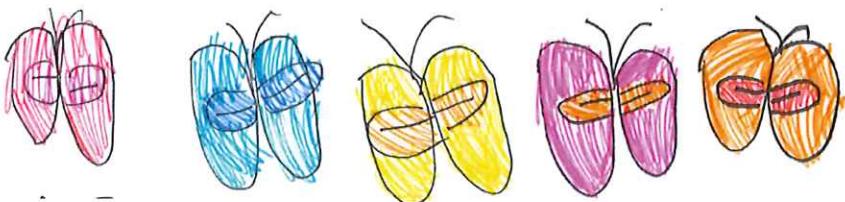


はっこどもえん えんだより 2023ねん

2期：5月15日～6月30日



5歳児（お花とちょうちょ）

社会福祉法人 種の会

幼保連携型認定こども園 はっこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL: 078-805-3810

FAX: 078-805-3820

携帯: 080-3033-1952

Mail: hat@tanenokai.jp URL: <http://www.tanenokai.ed.jp/>

種の会 法人本部 Mail: tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp

れんらくしま～す



★健診のおしらせ

6月12日（月）内科健診（全園児） 13：00～
6月13日（火）歯科健診（全園児） 10：00～

★尿検査を行ないます。

回収日は下記の通りとなっております。回収日・時間を過ぎますと、回収・検査してもらえませんので、お忘れのないようご提出ください。

詳細はチャイルドケアウェブでお知らせ致します。

尿検査・・・6月21日（水）9：30までに回収

6月22日（木）9：30までに回収

予備日・・・7月13日（木）9：30までに回収

★お迎えについて

お迎えに来られた時点で、お子さんは保護者の監督下にあります。片づけを済ませ降園をお願いします。また、お迎え後にホールや園庭で遊んでいると思わぬ事故や怪我に繋がることもあります。すみやかに降園して頂きますようお願いいたします。



ウィズコロナからアフターコロナへ

園長 片山 かたやま

暑すぎず寒すぎず心地よい季節となってまいりました。先月は入園・進級した子ども達はそれぞれにとって新しい環境での生活となり、すぐに慣れた子もいればそうでない子もいましたが、GW を過ぎると思い思いに自己発揮しながら活動していく姿がたくさん見られるようになってきました。

ようやく新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類感染症へと変更になりました。このことで政府から一律に日常における基本的感染対策を求めることがなくなり、新型コロナ陽性者や濃厚接触者の外出自粛は求められなくなりました。また限られた医療機関でのみ受診が可能でしたが、幅広い医療機関において受信が可能となりました。

皆さんのご家庭においても、活動の選択幅が増え、行動範囲も大きく変化されてきているのではないでしょか。はっとの生活においても感染症対策（3 蜜回避等）中心といった思考状況からは脱却し、様々な場面において子どもの自由度が高まることによって発想豊かに遊びが深まるような仕掛けを考えています。園外保育等を含め、子ども自身が多様な体験を通してワクワクする機会が訪れる事を願いつつです。

「子ども達の成長にとって大切にしたい経験」とは何か・・・それは単に‘遊ぶ’ではなく‘遊び込んでいるか’という視点を保育者は大切にしています。遊び込んでいるとは、没入感があり、集中している状態で、子ども達ならではの発想によって遊びが展開されたり、継続していたり、時には密になりながら、5 感が刺激されているような状態です。素材等を使いこなし、わが物としていく状態とも捉えています。

そのためには大人からは一見無駄にも見える繰り返しの時間や物が必要になります。大人の都合で時間や空間を切られた活動の中では十分ではありませんし、遊びの決まりが多すぎては独自の発想での遊びが見込みにくくなります。遊び込める環境をつくるために「時間・空間・人間」という3つの間を検証しつつ実践しています。遊び込むことで学び込める子となり、主体的に探究できる力が培われていくと考えております。

コロナ禍がもたらしてくれた学びの1つに、動画やオンライン等を用いた保育がありました。子ども達自身の学び（遊び）がより豊かになるための1つの手法ですので、今後も上手に活用していくとよいと思います。例えば、誕生会などの企画を子どもが考えるとき、何かを調べたいときなど、子どものアイデアが膨み、子ども同士の対話が盛り上がっていききっかけとなってくれます。またアフターコロナとなっても保護者の皆さんのが園の取り組みを知り、子どもの成長に喜びを感じて頂くためにも有効な手段となるケースもあると感じています。

ウィズコロナ時代、保育者の仕事そのものや働き方が大きく変化しました。アフターコロナとなっても教育・保育の質を向上させていくため、ますます多様な役割が求められていると感じ始めています。子ども達のために、保育者の発想そのものや働き方について、さらなる創意工夫・アイデアを出しながらやっていきたいと思います。



子どもへの声掛けって・・・

～ゴールデンウィークを終えて～



主幹保育教諭

橋本

今年のゴールデンウィークは連休が続き、久しぶりにご家族でゆっくり過ごすことができた方々も多いのではないでしょうか。いつもよりお子様との時間が長かった分、楽しく過ごすことができた反面、色々なことが目に止まり「早くしなさい!」「静かにしてね」「〇〇はダメよ」など、禁止の言葉をつい使ってしまい、イライラしたこと、そして後で「あ~あ、また叱っちゃった」と言う場面もあったのではないかでしょうか。連休でなくとも日々の子育ての中でも「子どもを褒めて育てたいのに、怒ってばかり…」と悩んでいる方も多いのでは?そこで、親も子どもも気分が楽になる「声掛け変換」をご紹介します。子育てのヒントになれば幸いです。

「声掛け変換」とは、普段なにげなく口にする言葉を、相手に寄り添った言葉に言い換えるコミュニケーションです。どんな言葉を使うかによって、子どもに対する見方は変わってきます。「ダメ」ではなく「大丈夫」という気持ちで言葉を選べば、長所にも自然と目が向くものです。これははっとの保育の中でしょっちゅう行なっている「いいとこ見つけ」「キラキラ探し」と一緒です。友達のいいところをたくさん見つけて、お互い認め合うというところです。褒め方や叱り方で悩んでいる場合は、声掛けを肯定的な言葉に変換すると、子どもにも伝わりやすくなり、かつ、おうちの方も前向きな見方ができるようになることでしょう。「声掛け変換」は「こういう言い方をしなければダメ」というルールはありません。大切なのは、親子が共に無理せずありのままを認め合いながら楽しく過ごすこと。完璧を目指すのではなく、わが子に合った声掛けを気長に探していくつもりで、肩の力を抜いて取り組んでみてください。



○声掛けをする時の4つのポイント

年齢が低いほど言葉の意味をまだ十分には理解できないものです。そこで、下記の4つのポイントを意識してみてはいかがでしょうか。

①表情ははっきりと

嬉しい時はニコニコ笑い、怒る時(時には必要な時がありますよね)は厳しい表情にして、喜怒哀楽の感情をはっきりと示しましょう。

子ども向け番組のお兄さんお姉さんの表情ってオーバーに見えますが、それぐらいが伝わりやすいです。
(はっとの職員も表情が豊かです)

②声のトーンにメリハリを

子どもに大切なことを伝えたいことがある時や注意が必要な時には、しっかりと目を見て落ち着いたトーンの声で話すと、大きな声を出さなくても分かってもらえることが多いです。普段は穏やかなトーンで話し、ここぞと言う時だけ低い声にすることで「いつもと違うぞ」というギャップを演じましょう。その時は心は冷静になることが必須です。また、子どもに分かりやすく端的に具体的に伝えましょう。

③ボディーランゲージも交えて

言葉で説明するだけでは具体的なイメージが伝わりにくいこともたくさんあります。例えば「後3回だけ」と伝えるのであれば、指を3本立てて、1回終えるごとに1本ずつ減らしていくなど、目に見える動作を交えるとよいでしょう。褒める時に頭をなでたり時にはハグをしたりするなどのスキンシップも効果的です。

④物理的な工夫も忘れずに

子育てでは、言葉だけでは間に合わない時もあります。家庭では、「お風呂場に鍵をつける」「電気ケトルや薬・ライター等は手の届かないところに置く」など、事故が起きにくい環境をつくる工夫も大切です。

(家庭内のヒヤリハットにも目を向けてみてください)



○さい 1さい
おひさまくみ

かじはら すえぐち
梶原 未口
たたら いすみ
多々良 泉

2期 春～夏を味わう期（5月15日～6月30日）

【ねらい】

いろいろな感触あそびを楽しもう

園での生活に慣れ、気持ちよく過ごす。

【うた】

♪おつかいありさん ♪ぶんぶんぶん ♪あめふり

♪かたつむり ♪かえるのうた など

【わらべうた】

♪おちょうずおちょず ♪あがりめさがりめ

♪2階へあがらしてや

♪だんごだんごくっついた ♪にぎりぱっちり など

【主な活動】

戸外遊び 水遊び 泥遊び 感触遊び 密蝶クレヨン

【食育】

新たまねぎ（5月） アスパラ（仮）（6月）

【異年齢活動】

クローバーデイ 乳児交流



こいのぼりをつくったよ



こいのぼりの製作をしました。半円の形をした4色の画用紙の中から自分で好きな色を選び、それにクレパスでなぐり描きをしたり、シール貼りをしたりして遊びました。クレパスに興味津々だった子ども達。始めてクレパスに触れる子も多くいましたが、クレパスを画用紙の上でトントンと動かしてたくさんの点を書いたり、腕を大きく使って、なぐり描きをしたりしていました。そしてシール貼りにも挑戦しました。指先を使って、集中した表情で1枚1枚シールを貼って楽しんでいました。自分たちの作品がこいのぼりのうろこになり、大きなこいのぼりになったのを見ると「せんせい、〇〇ちゃん。こいのぼり！」と嬉しそうに教えてくれる姿がありました。



リトミック・ふれあい遊びが楽しいね



おやつを食べた後に、みんなでリトミックと触れ合い遊びをしています。最初は保育者がやっているのを見ているだけだった子ども達でしたが、毎日行なうことで音楽に合わせてゾウになったり、うさぎになったりして楽しそうに遊んでいます。「じょうぶないす」というふれあい遊びが人気で、歌が流れるとき、座って椅子を作ったり、友達の椅子に座りに行ったりしている子ども達。椅子を作っている子も、友達の椅子に乗っている子も、お友達と一緒にやっているのが楽しくてニコニコ笑顔です。これからもたくさん音楽に合わせて体を動かして遊んでいきたいと思います。



2さい
なぎさくみ

のうそう 心くおか まえだ
能宗・福岡・前田

【2期】春～夏を味わう期（5月15日～6月30日）

- 【テーマ】 雨や水溜り、新緑など身近な自然をのぞいてみよう
- 【室内活動】 クレパス遊び・シール貼り・小麦粉粘土・絵の具排出遊び（3原色）
- 【うた】 ♪おつかいあいさん ♪あめふりくまのこ ♪かたつむり など
- 【わらべうた】 そうめんや・こどもとこどもが・とのさまおちゃくざ など
- 【集団遊び】 ひっつきもっつき・追いかけっこ・かくれんぼ など
- 【戸外活動】 園庭遊び・さんぽ（HAT内・近隣の公園）
- 【異年齢交流】 クローバーデイ・乳児交流
- 【栽培】 夏野菜を育てよう（植え付け・水やり）
- 【食育】 メロン

『生き物』との関わり

4月は暖かい気候の中、園庭にはダンゴムシやちょうちょがたくさんいて、なぎさ組の子ども達はみんな興味津々でした。そのため、お部屋でもダンゴムシの飼育を始めたり、捕まえたちょうちょの観察をしたり、生き物とたくさん関わりを持つてると、子ども達は素敵な表情を見せてくれました。

丸まったり、歩いたり、隠れているダンゴムシを見て「ねんね」「おさんぽしてる」「かくれちゃった」と、ダンゴムシの姿を言葉で表現して教えてくれます。また、給食室にダンゴムシのご飯(野菜)をもらい、ダンゴムシのために小さくちぎってあげたり、食べやすいところに置いてあげたり、思いやりの気持ちが芽生えている姿も見られました。

生き物の生活を覗き込むことで、新しい発見や疑問がたくさん生まれると思います。「すごい！」「なぜだろう？」はきっと大きな成長に繋がると思います。梅雨や夏にも、カタツムリやカエル、セミなどの様々な生き物が顔を見せてくれます。これからも子ども達と同じ目線になって、さまざまな生き物たちの生活を観察していきます。



『クローバーデイ』と『乳児交流』

5月からおひさま組となぎさ組の異年齢保育『クローバーデイ』と『乳児交流』が始まります。どちらもクラスの垣根を超えて、ままごとや構成遊び、主活動（感触遊びなど）と一緒に遊びます。年下のお友達との関わりの中で、また新しい表情が見られることを楽しみにしています。



うさい
にじくみ

ふじわら・たかはし
藤村・高橋



2期 (5月15日~6月30日)

【テーマ】 天気の変化を感じる~梅雨について知ろう~

【絵画・制作】 絵の具~スタンプで雨を作ろう~

クレヨン、のり~カタツムリを作ろう~

【うた】 ♪かえるのうた ♪かたつむり ♪あめふり

♪あめふりくまのこ ♪しゃぼん玉 ♪バスごっこ

【ふれあい遊び】 リトミック・人数集め

【農育】 夏野菜のお世話

【園外活動】 散歩（近隣の公園）

【食育】 おにぎりを作ろう



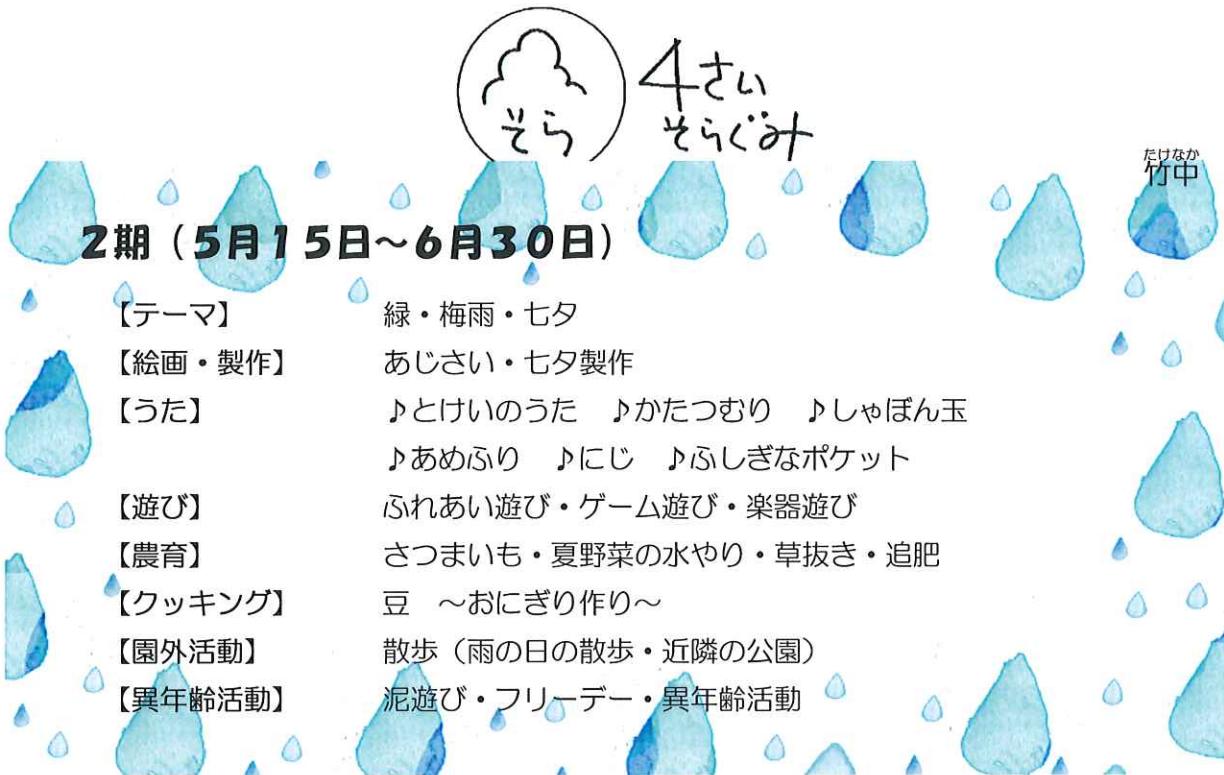
こいのぼりを作ったよ

園庭のこいのぼりに興味津々な子ども達。「こいのぼり」の歌が大人気で、サークルタイム以外の時も口ずさんでいる姿が見られました。そこで、クラス活動でこいのぼりを作りました。こいのぼりの型に切った画用紙に、のりを使って三角や半円の画用紙を縦に並べて貼ったり、三角だけ貼ってみたりとそれぞれ、こだわりを見せてくださいました。うろこが貼られた次はクレヨンで模様を描きました。「こいのぼりのうろこってどんな模様だろう」と一生懸命写真を見ながら描いてみたり、いろいろな色を重ねて塗り「オレンジ色になったよ」と色の変化を楽しみながら描いてみたりしていました。子ども達の個性溢れるこいのぼりが完成しました。かぜの部屋に飾ると「こいのぼりここにあるよ」と嬉しそうに教えてくれる姿がありました。



お知らせ

6月5日から給食当番を始めます。輪番で行ないままで、タンスの中にエプロン・マスク・三角巾のご準備をお願いします。



いちごだいはき

食育やクッキングで、いちごを味わいました。食育では、いちごの成長の過程を知り、実際のいちごを観察しました。「ぽこぽこしてる」「タネがあるね…食べられるの?」と発見がたくさんありました。クッキングでは、グループの友達と協力してミックスジュース作りに挑戦しました。順番にいちごやバナナを潰したり、牛乳を混ぜ合わせたり、声をかけ合いながら協力していました。自分達の作ったミックスジュースは格別でおかわりをしている子もいました。活動を通して、さらに関心が深まり、園庭で育てているいちごを見て「赤ちゃんのいちごができるよ!」「赤くなってきた!」

などと成長を楽しみにしている姿が見られるようになりました。



こいのぼりをつくったよ～デカラコマニー～

朝のサークルタイムで「今日もこいのぼりの歌を歌いたい」と元気よく歌っていました。こいのぼり製作では、画用紙の中心と角の3箇所に点を書いて、その点を線で結びました。自分達で書いた線をはさみで切り、こいのぼり型を作りました。「これはまごい」「赤ちゃんこいのぼり」などと、それぞれのイメージを膨らませながらこいのぼりを作っていました。

絵の具を使って点や線などを思い思いに描いて、半分に折って、再び広げると素敵なこいのぼりの鱗が浮かび上りました。紙の上で色の混ざりを楽しんだり、半分に折ってどんな模様ができるのか想像したりと、ワクワクしている姿が見られました。完成したこいのぼりに目を付けて個性豊かなこいのぼりがたくさん出来上がりました。





5さい
かもめくみ

ひらくり
平栗

2期 (5月15日~6月30日)

【テーマ】 梅雨を感じよう

【絵画・製作】 レインコート製作・七夕製作

【うた】 ♪うたえパンパン ♪あめふり ♪にじ
♪たなばたさま ♪パレード

【ピアニカ・楽器】 ピアニカで音あそび～ぶどうのパン・ひげじいさん～

【ふれあい遊び】 人数あつめゲーム・ルールのあるゲーム遊び(エンドレスリレーなど)

【園外保育】 散歩(近隣の公園)・親子遠足

【食育】 いちごの食育・カレークッキング

【農育】 夏野菜の栽培

【異年齢活動】 グループ活動・フリーデー・泥遊び



グループで共同製作

2日間かけてこいのぼり製作をしました。最初に何を使って作るのか、こいのぼりの素材(カラーポリ袋、不織布、模造紙)と色をグループごとに話し合いました。それぞれに好きな色、使いたい素材を主張し、そこからグループで1つに決めることに苦戦しました。しかし、お友達と意見がぶつかり合う中で、自分だけでなく友達の意見を受け入れようとする姿がみられました。「土台の色は赤でいいからウロコの色は青にしたい」と譲り合って決まるグループ、「ピンクと赤をくっつけて半分半分にしよう」とお互いの意見を合体させるグループなど様々でした。これからグループでの活動を通して、自分の気持ちを伝えたり、友達の気持ちを聞いたりと、友達と協力する楽しさを経験してほしいと思っています。



春野菜の食育&クッキング

食育で春野菜について知りました。「新ジャガイモは皮ごと食べられる」と聞き、驚きでいっぱいの子ども達。そこから、春野菜を使って、春野菜スープを作りました。野菜を包丁で切るのに「怖いからやめとく」と、包丁を使うことをためらう子が多かったのですが、友達が切っている姿に「やってみたい」と挑戦することができました。スープが出来上がるとなにか野菜は誰が切ったの?と、友達と笑い合いながら美味しくいただきました。



つりのせいせい

ささい
笠井

今回ははっこども園のインスタグラムについてご紹介します。

はっこども園は2年ほど前にインスタグラムのアカウントを開設しました。そこでは、日々の保育の様子や活動の様子などをお伝えしています。普段は電子連絡帳等での文面や保育者との会話で日頃の様子をお伝えしていますが、文字や言葉だけではイメージが湧き辛いこともあるかと思います。インスタグラムでは写真を交えて日頃の活動や行事の様子をお伝えしています。感触遊びや製作活動、クッキングや食育などおひさま組からかもめ組までたくさんの活動を掲載しています。

また、保育の様子のみではなく親子ふれあい広場やタッチケア教室等の情報も発信しています。入園前の乳児のお子さんがおられる方や、身の周りに興味のある方がおられたら気軽に覗いていただければと思います。

保育の活動は毎週金曜日に更新しています。アカウントはインスタグラムにて「はっこども園」と検索して頂ければすぐに出てくるのでそちらから見て頂ければと思います。また、下記のQRコードを読み取って頂けたらアカウントの方が表示されますのでぜひご利用ください。

ご覧いただいたときにはぜひ、ご家庭でお子様と会話の話題にして頂けたらと思います。



107
投稿 248
フォロワー 45
フォロー中

はっこども園
神戸市灘区にある認定こども園「はっこども園」です！ "みんなでみんなをみていく園づくり"を大切に同僚性の向上に努めています。

tanenokai.ed.jp/hatto





ほけんだより

看護師 ならき 榎木

5月の連休も終わり梅雨の季節がやってきます。天気の変わりやすいこの時期は、体調を崩しやすいので注意が必要です。特に衣類の調節には、いつも以上に気を配るようにしましょう。また、汗をかくので、こまめな水分補給が大切になってきます。

<梅雨の時期の注意点>

○食中毒

食中毒は6月～9月頃にかけて多く発生します。特にお弁当は注意が必要でお弁当箱は熱湯消毒を心がけましょう。

○風邪

蒸し暑い中、汗をかくことが増えますが、朝夕は気温が下がり寒くなります。汗をかいたらすぐに着替えるようにしましょう。寒い時は衣類の調整をお願いします。

○事故

雨の日は傘をさすことで、視界が遮られます。事故の危険性が高まり、雨で滑って転びやすくなりますので十分注意しましょう。

<6月4日～10日は歯の衛生週間>です。

子ども達が健康な歯で一生を過ごすことができるよう乳幼児期から歯の健康を守る習慣を身に付けていきたいものです。

- ① 乳歯はよく噛む機能を育てる。
- ② 話すときに正しく発音する。
- ③ 永久歯を正しく生える場所に導くなど大切な役割がある。
乳歯だからと、歯磨きをおろそかにせず大人がケアしてあげる。
- ④ 乳歯がそろったら自分で磨く練習を始める。
最初のうちは「正しい磨き方」より「自分で磨く」という気持ちを大切にして、隣で一緒に磨いたり、褒めたりしながら、1日1回（特に夜）仕上げ磨きできれいにしていきましょう。

<6月の健診>

内科健診：6月12日（月）13時

歯科健診：6月13日（火）10時

尿検査：6月21日（水）22日（木）

6月5日に外部より歯科衛生士の先生に来ていただき、歯科健康教育を行ないます（対象は5歳児です）
10時15分から開始します。



<梅雨にご用心>・・・「ハウスダスト」

○窓の結露を防ぐ裏技

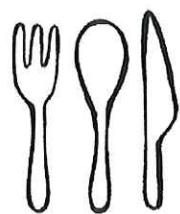
1カップの水に大さじ1杯の食器用洗剤を入れて、泡が立つくらいに混ぜ合わせる。

上記の洗剤で窓をしっかり拭き、乾いたタオルで泡を拭き取る。

*ダニの死骸や糞が、体内に侵入すると、ダニによるアレルギー性喘息や、鼻炎を引き起こします。

高湿度に注意し、換気に気をつけ、掃除機でこまめに掃除しましょう。

お台所の先生から



戸井 こんどう
近藤

～長いもとオクラの味噌汁～

すり下ろした長芋がトロトロで、口あたりがよくて飲みやすい味噌汁です。

オクラをアクセントに☆

：材料：<大人2人子ども2人分>

- ・長いも 150g
- ・オクラ 5本
- ・だし汁 3カップ
- ・みそ 大さじ2と1/2
- ・白すりごま 大さじ1/2



：作り方：

①長いもは皮をむいてすりおろし、オクラは小口切りにする。

②鍋にだし汁を入れて火にかけ、沸騰したらオクラを加えて1分ほど煮る。弱火にしてみそを溶き入れ、長いもを加え、再び煮立ったらすりごまをふる。

天気や自然の移り変わりに、季節の変化を感じている子ども達。

見た目も色鮮やかな旬のお野菜を使った給食で、子ども達に楽しんでもらいたいと思います。

《オクラの栄養素》

オクラはねばねばが特徴的ですが、これらは食物繊維からできています。整腸作用もありオクラが体に良いといわれる栄養素のひとつです。

ウエルネス 体育遊び

体育講師：森山 難波

3歳児は、基本的な動作を中心に、まずはサーキット運動と指導者に慣れるところから行なっています。4歳児、5歳児は基本動作に加え、たくさんの動きを身に付けていけるように、複合動作もたくさん取り入れて行なっています。引き続き、体育あそびでは、サーキット運動を中心に、4歳児、5歳児では技能獲得に向けての取り組みとしてポイントタイムを実施していきます。

第2期の取り組みとねらい

サーキット運動

○3歳児クラス

○形とU形サーキット

- ・U形コースを理解して、道具を順番に進むことを覚える。
- ・サーキット運動に興味・関心を持っていろいろな遊具にふれあいながら体を動かす楽しさを味わう。

○4歳児クラス

U形サーキット

- ・サーキット運動に対する前向きな気持ちや生理的な運動欲求に応えるために、運動量を確保し、心身の安定を図る。
- ・「走る」「跳ぶ」など基本動作に負荷を加え、1つひとつの動作を確かなものにする。
- ・複合動作①の経験。（～しながら～する、という2つの動作を同時に行なう）

○5歳児クラス

U形サーキット

- ・動きの確かさ（素早さ、リズム、バランス、連續性など）を図る。
- ・新しい動きを提供し、創造性や愉悦性などの魅力を伝える。
- ・複合動作②の経験。（～から～して～する、という3つの動作を同時に行なう）

ポイント指導

・3歳児クラス

- ・マット「でんぐりがえり」⇒手をついて前に転がる感覚を身につける。
- ・跳び箱「お山登り～ジャンプ」⇒支持をしての登り、ジャンプで立つ。
- ・鉄棒「ぶら下がり～足タッチ」⇒鉄棒にぶら下がりながら鉄棒に足をタッチする。

・4歳児クラス

- ・マット「前回り」⇒マットで手を支持しお腹を見ながらまっすぐ回る。
- ・跳び箱「台上～開脚乗り」⇒台上から踏み切り板を蹴り開脚で乗る。
- ・鉄棒「つばめ～前回り降り」⇒鉄棒に飛びつき腕支持の姿勢から身体を丸くしながら手首を回しながら前に回る。

・5歳児クラス

- ・マット「後転」⇒手の平でマットに手を付き、マットを押して回る。坂付きと坂なし両方で行なう。
- ・跳び箱「開脚跳び」⇒助走からふみきり板を強く蹴り、お尻を高くあげ体重移動を行ない跳ぶ。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒腕を引きつけて、顎を引きながら蹴り上げを行なう。「逆上がり」⇒蹴り足と、脇の引き締めを意識して行ない強く蹴り上げる。

保護者の皆さんへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方も
お顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本